

松原御小休所跡

高貴な人のための休憩所

与川道は、木曽川に沿って延びていた中山道が地滑りや洪水により通行できない時に旅人が迂回路として使っていました。1731 年の資料によると、与川道沿いには、位の高い人が少し休憩を取ることのできる休憩所がここ松原のほかに、根の上峠と桃木峠の 3 ヶ所にありました。

これらの休憩所をできる限り快適な場所に設置できるよう、用地が注意深く選定され、峠にある 2 ヶ所では壮観な景色を楽しむことができたと考えられており、ここはおそらくそのすぐ下を流れる小川に近いことから選ばれたのでしょう。高貴な人々がくつろぐための仮設小屋の建設用地を用意するにあたって、木が伐採され、整地されました。景色をより広大に楽しめるように小川へとつながる斜面の木々も伐採されたかもしれません。